

2018年12月5日

関係者各位

一般財団法人 発達支援研究所

発達支援基礎研修のご案内

拝啓

初冬の候、皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

発達障害者支援法の施行に伴い学校や放課後デイサービス等において発達障がい児に対する心理的・教育的な発達支援の充実が益々求められています。本研修会は理論を実践の場で検証し、エビデンスに基づく実践のための方法や原理を習得できるように、以下の四つの内容から構成されています。①発達支援の基礎理解、②学習困難や生活場面における困り感に対する具体的な支援方法、③発達相談から発達支援までの相談支援システム作り、④支援者としての職務倫理。

学んでいただきたい知識・理論は①関連法規、②認知神経科学からの知見、③WISC-IVの結果を活用したエビデンスによる支援、④学習科学からの知見、⑤相互作用モデルによる障がいのとらえ方、などです。

この研修会が皆様方の実践に役立つように努力したいと考えます。振るって参加されることを願っています。

敬具

記

1. 対象者：教育・福祉・保健医療等の専門機関において発達支援や心理アセスメントに携わる者。
2. カリキュラム：全20時間構成(1回～20回：各回1時間)
3. カリキュラム内容：別紙カリキュラム表参照
4. 研修実施日時 (全5日間)

日数	研修日(2019年)	時間数	時間帯(午前・午後2時間)
1日目	1月24日(木曜日)	4時間	10時～12時、13時～15時
2日目	2月7日(木曜日)	4時間	10時～12時、13時～15時

3 日目	2 月 23 日 (土曜日)	4 時間	10 時~12 時、13 時~15 時
4 日目	3 月 2 日 (土曜日)	4 時間	10 時~12 時、13 時~15 時
5 日目	3 月 9 日 (土曜日)	4 時間	10 時~12 時、13 時~15 時

4. 実施場所：クラ・ゼミ技能教育施設静岡校

〒420-0839 静岡県静岡市葵区鷹匠 2 丁目 25-22

5. 講師：一般財団法人発達支援研究所

大阪研究所長 西岡広樹 (臨床発達心理士 SV、学校心理士 SV)

6. 受講料：150,000 円(税別)

平成 31 年 1 月 14 日(月)までに 下記の指定口座に振り込みをお願いします。

なお、振込手数料は申込者のご負担でお願い致します。

三菱 UFJ 銀行 浜松支店 (563) 普通預金 口座番号 0352101

口座名 一般財団法人発達支援研究所

7. 申込方法：申込書にて FAX または下記 E-mail 先まで送信

Mail : kondo@devrsc.com

8. 申込締切日：平成 31 年 1 月 14 日(月)まで

定員 30 名 ※申込締切日前でも定員になり次第締切ます。

9. お問い合わせ先：

〒586-0001 大阪府河内長野市木戸 1 丁目 1-3 宮阪ビル 302 号室

一般財団法人発達支援研究所 大阪研究所 (担当 近藤)

TEL&FAX 0721-69-9223

以上

発達支援基礎研修 申込書（個人用）

一般財団法人発達支援研究所

申込日	
フリガナ	
申込者名	
勤務先	
住所	
電話番号	
メールアドレス	

発達支援基礎研修 申込書（団体用）

一般財団法人発達支援研究所

No.

フリガナ			
申込団体名 法人・事業所名等			
住所			
電話番号			
メールアドレス			
申込担当者			
申込人数合計			
受講者名 1		受講者名 11	
受講者名 2		受講者名 12	
受講者名 3		受講者名 13	
受講者名 4		受講者名 14	
受講者名 5		受講者名 15	
受講者名 6		受講者名 16	
受講者名 7		受講者名 17	
受講者名 8		受講者名 18	
受講者名 9		受講者名 19	
受講者名 10		受講者名 20	

発達支援基礎研修カリキュラム

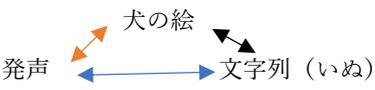
一般財団法人発達支援研究所

第1部 発達支援の基礎理解

時間	研修テーマ	支援者として深めたい知識や概念 心理、教育、関連法規のキーワード
1	発達障害とは？ ① 厚生労働省の定義 ② 脳の機能障害とは？ ③ 認知の定義とその種類（脳の画像と機能） ④ WISC-IVによる認知機能（能力）体験	認知機能障害、認知機能の体験 発達障害者支援法 文部科学省「LD,ADHD,高機能自閉症等」→発達障害の表記に換える平成19年
2	発達障害は治るの？ 個人要因と環境要因による相互作用モデルについて 九九の学習の例を使って説明 個人要因（認知）—環境要因（学習の方法） 発達障害児の定義 発達支援の定義	発達障害児、発達支援、社会的障壁、合理的配慮 障害者差別解消法
3	主な発達障害の診断名とその特徴について LD、自閉スペクトラム症、ADHD 発達支援における「短所克服の指導から長所活用の指導」への転換について	発達障害者支援法 ICD-10、DSM-5 文部科学省の定義 適正処遇交互作用、フロー経験、自己効力感、学習性無力感 自尊感情、二次障害

第2部 学習困難や生活場面における困り感に対する具体的な支援方法

4	LDの理解と学習支援1（漢字書字困難1） アンバランスな字形への学習支援 空間認知障害による漢字書字困難の事例	LDの定義（文部科学省）、 ICD-10（学力の特異的発達障害）、DSM-5（限定的学習症） 空間認知の神経回路（背側経路と腹側経路）。腹側経路（色）を長所として活用。 WISC-IVの「積木模様」（空間認知）
5	LDの理解と学習支援2（漢字書字困難2） 字形の細部の間違いへの学習支援 細部認識障害による漢字書字困難の事例	視覚経路の腹側経路（形）認識の弱さに対して（色）を長所として活用 WISC-IVの「絵の完成」（細部の認識）

6	LD の理解と学習支援 3 (漢字書字困難 3) 漢字字形の記憶困難への学習支援 ワーキングメモリの弱さによる記憶困難の事例	ワーキングメモリ WISC-IVの「算数」(高次のワーキングメモリ) 刺激等価性パラダイム理論(読み・意味・字形) 視覚情報による介入
7	LD の理解と学習支援 4 (漢字書字困難 4) 漢字を書いて覚えられない事例への支援 「視覚と運動の協応」障害への合理的配慮の事例	学習適正交互作用、短所配慮長所活用、視覚的記憶力の活用、手続き的記憶(筋感覚記憶)微細運動 WISC-IVの「符号」の弱さと書字運動障害
8	「ひらがな」が読めない知的障害児への事例	刺激等価性パラダイム理論  文字列と発声の等価性 音韻意識 学習性無力感、内発的動機
9	とばし読み、拾い読み、気持ちを書けない場合の指導例	空間認知 気持ちを表す顔マーク→気持ちを表す言葉(例、うれしい)へと変換視覚媒体(絵)から文字言語へ 対連合学習 WISC-IVの「積木模様」(空間認知)、「単語」、「類似」言語概念形成、流動性能力
10	文章読解が困難な事例への指導例 通常の学級での指導例を通して	段落を文に分解して文カードにする。文カードと内容を表した絵との対応を視覚的に理解する。 WISC-IVの「単語」、「類似」言語概念形成、流動性能力
11	筆算計算において繰り上がり処理が困難な事例への指導 小学校3年、支援学校高等部に事例を通して	ワーキングメモリ、保持と操作 繰り上がり処理が不要な計算様式の活用 WISC-IVの「言語理解」、「算数」、「逆唱」、「語音整列」
12	数の概念が未形成な事例への指導 通級の指導例を通して	買い物ごっこ、エピソード記憶 数の概念、合成、分解、最小、比較 宣言的知識、手続き的知識 WISC-IVの「言語理解」、「算数」、流動性能力

13	算数文章題が困難な事例への指導 通級の指導例を通して	図的表現の活用（概念間の関係を絵や図を使って理解したり表現したりする） 数学的問題解決の4段階モデル 問題状況のスキーマ図 WISC-IVの「言語理解」、「算数」、流動性能力
14	ADHDの脳機能障害（制御機能）に対応した指導の基本 ASDの脳機能障害（情動系神経回路）に対応した指導の基本	ADHD：注意の制御、薬物（リタリン、コンサータ）、ドーパミン、ベアトレーニング、大脳基底核、大脳皮質 ASD:社会脳、心の理論、中枢性統合の弱さ、SST、注意共有メカニズムの障害 扁桃体、海馬
15	ADHDの注意散漫で課題に取り組めない児童への応用行動分析による支援事例	オペラント条件づけ理論、応用行動分析、随伴性（強化・弱化） 動機づけ（好奇心）、スモールステップの学習支援 自己選択・自己決定・称賛
16	アスペルガー症候群により不登校になった児童への支援事例	動機づけ（興味関心から学習課題） 長所（理論的な思考）を活用する学習内容の作成 家庭からの双方向性の通信（チャット）→対面型の交流へ（学級復帰）
17	発達障害への理解教育の事例 ASDの「行動特性」の場面を提示しどのように関わればよいかを話し合う。	①相手の気持ちを考えないでストレートに話す場合の関わり方 ②話し手の意図が伝わらない場合の関わり方など 関わり方を教える　ロールプレイ ソーシャルトレーニング

第3部 発達相談から発達支援までの相談支援システム作り

18	発達相談から発達支援へつなげる相談の在り方	通級と通常の学級との連携 高校での通級（2018年度） リソースルーム 教育相談・心理検査・個別の支援・評価の一連のシステム 特別支援教育の制度 個別の指導計画・個別の教育指導計画
----	-----------------------	---

第4部 支援者としての職務倫理

19	発達支援に関わる要支援者としての職務倫理や関連法規について	守秘義務（法的義務・職業倫理）、 インフォームド・コンセント 障害者差別解消法 障害者虐待防止法 発達障害者支援法 障害者総合支援法
----	-------------------------------	---

まとめ

20	Q&A の方式で研修内容の振り返りを行い理解の定着を図る	心理学、教育学の理論と現場での関連性を踏まえ理解を深める 関連法規の趣旨を現場での活動に置き換え理解を深める
----	------------------------------	---